

地域懇談会実施報告書

自治会名 宮本自治会
開催日 11月17日(土)
時間 19:00~20:30
開催場所 宮本公民館
参加人数 24名
懇談内容 別添 議事録

質問等後日回答を要するもの

美麻地区、八坂地区には多くの土木事業の予算が使われていると聞くが、他の地域と具体的な数字の比較を提示してほしい。

県道大町～明科線宮本交差点の付け替え工事をしているが、仁科神明宮まで道をつなげていくのか県に確認をしてほしい。

対応

確認し文書で回答。

県に確認し、文書で回答。



行政参加者 氏名

庶務課長 酒井富雄

社公民館 小林 悠

記録者 小林 悠

宮本自治会地域懇談会議事録

1. 開会 【19:00】

2. 自治会長 あいさつ

大町市の市政が前進するように地域の意見を話す機会をいただいた。意見を出していただきたい。

3. 市長 あいさつ

(1) 地域懇談会について

市長の公約の一つに地域に伺い意見を聞くことを入れた。議会が住民の意見を反映しているが、それとともに住民の意見を直接聞くことが重要である。昨年までは社地区内で1ヶ所だけで行っていたが、行政がどんな取り組みをしているのか、各自治会でより細かく説明をして、市民から意見をいただきたい。このような形式での地域懇談会は、今回で25回目、合同開催があるので自治会の数にして45自治会目となる。市民参加と協働のまちづくりによる、地域の再生を基本理念に市政を進めていくこととしている。市民の皆さんの要望に対しては、以前のように財政だけでは解決できなくなっており、また今まで培ってきた行政のノウハウだけでは解消は困難となってきた。これからは市民の皆さんに市政に参加していただき、共に考え成果をあげていきたい。少子高齢、人口減少など、問題が山積みする中で、大町市が活力を維持できるよう、産業、雇用、地域交通基盤を整備していかなければならない。

(2) 第4次総合計画のダイジェスト版からの説明。

4. 懇談【開始19:15】

出席者

広報おおまち発行のための年間予算はどのくらいか。財政が厳しいのであれば、月に2回も出さずに、たとえば月に1回の発行や、必要なときに発行すべきではないか。あれほど紙面があっても、全員が全てを読むわけではなく無駄ではないか。

市長

必要なときに、必要な人に、必要な情報を出すという考え方が基本である。たとえば、月に1回や2ヶ月に1回などの発行であれば、様々な催し物のお知らせや、子供の検診などの情報が、ずっと先のことになり不便になってしまう。紙面の量については、市民全員が同じ情報を必要としているわけではないので、様々な分野を載せる必要があるので多くなる。新聞掲載するという手法もあるが、実際、県で行って見たが何誌にも載せる必要があり、予算削減にはならなかった。また、インターネットもすべての人が見ることができる環境ではない。このようなことから、現時点では紙を使った方法で行わざるを得ないが、コストを抑えられないか検証していく必要はある。

出席者

財政が厳しく、陳情しても、特に土木事業に予算がつかないと聞いている。広報印刷代を少しでも削り、土木分野に予算を多くして、各地区からの要望に答えてほしい。

市長

広報おおまち発行予算については、調べたところ、1回あたり約30万円で、年間で約720万円である。情報の伝達については、様々なニーズや人により必要とする情報が違うので、カットは難しい。

出席者

生活する上で危険な箇所や、平成16年度の災害の後に、被災状況を文書と写真で要請してあるが、いまだに復旧ができておらず、再び災害になる可能性がある。これは市の対応に問題があるのではないか。他の地区の工事が進んでいるのに、宮本だけ後回しにされているのではないか。

市長

災害復旧は重要であるが、市全体の状況を見ながら、厳しい財政の中で慎重に進めていく必要がある。国の災害復旧に該当する場合は、国土交通省の災害査定を受けて行っている。単独事業の場合は、公平な目で見て優先順位をつけて行っており、宮本が後回しになっているわけではない。

出席者

宮本の災害復旧で、市が行った具体的な場所はどこか。市はどこにも手を入れていない。市長は市の代表であれば全てを把握してくるべきである。

出席者

財政的に厳しいと思う。バランスシートを作って歳入と歳出を示して、例えば5年後の状況や、現在の厳しさを具体的に説明すべきではないか。

宮本が遅れていると意見が出たが、地区の道路整備がなされていないという意識もあるのではないか。

市長

バランスシートとは将来の財政状況を示すものであるが、今日の資料であるダイジェスト版にはないが、もとの総合計画には示してある。広報おおまち10月15日号で財政について詳しくお知らせしている。これからも解りやすく広報し、示していきたい。

出席者

土木事業に関して、美麻地区や八坂地区に多くの金額がかけられていると聞いたが、具体的な金額で比較して示してほしい。

市長

特別美麻地区や八坂地区に多くかけていることはないと思うが、今ここで具体的な数字は提示できないので、後日自治会長に文書で回答する。予算がないという説明のみで、市民の皆さんからの要望を断っていたことは、反省すべき点である。具体的な説明をするよう努めていく。

出席者

仁科神明宮は大町市の財産であり、市でもっと力を入れて取り組んでほしい。それには県道から神明宮まで大型バスが入れるよう道を造っていただきたいが、正科から神明沢沿いに造ることや、今ある道を拡幅することが考えられ、陳情もしているがどうか。また、現在県道大町明科線宮本交差点付近を工事しているが、そのまま神明宮まで改良する案があると聞くがその点もどうか。

市長

仁科神明宮の重要性は認識している。観光について市でも審議会を開き、国営アルプスあずみの公園に来た観光客を、どのように神明宮や地域全体につなげていくか、検討を進めている。県道から神明宮までの道については、神明沢は市でも過去に検討し、距離が長く埋め立てが多いので容易ではないことや、現在の道を拡幅するには地権者の理解が得られていないこともあるので、今後も地域と相談させていただきたい。県道の宮本交差点付近は危険箇所であり、交差点の付け替え工事を行っているが、そこから斜めに上がってくる案は、県でも検討段階であると思うので、考え方などを確認する。

出席者

仁科神明宮の社務所に詰めているが、観光客も平成11年には2万から2万5千人くらいだったのが、現在は2万5千人から3万人になっている。これを飛躍させるには行政の観光政策の後押しが必要である。宗教的なこともあり市でもためらっているように見えるが、観光の核として施策を進めてほしい。先ほどの県道からの道路は県単独の規模ではなく、難しいと思うが検討してほしい。

市長

仁科神明宮は国宝であり、観光の核として施策を検討していきたい。国営公園や黒部ダムに来る大型バスが、乗り入れられるような改良を県に積極的に要請している。

出席者

先ほどの宮本交差点から神明宮のルートについては、平成 8 年に県が測量を済ませていることを確認している。ただ当時の説明では、予算がなくてできないとのことだったが、前の建設事務所長とも話した中で、一方通行でもいいから、できれば道を作りたいという話が出ていた。市からも要請をお願いしたい。

市長

地元からも声を上げていただきたい。また市としては県に要請している。すぐにできるとは思わないので根気強く要請していきたい。

出席者

平成 6 年に当時教育委員会の多目的広場を造る補助金を利用し、地区内にマレットゴルフ場を造った。今では上田市など遠くから大型バスで来て、楽しんでいる。先日は社の大会を開いているが、地区内だけでなく多くの大会を誘致してほしい。

市長

宮本のマレットゴルフ場を活用してもらえるように、市のマレット協会にも市から話をしていく。

出席者

社南部の上の段は、水田が 38 町歩ほどあり、減反や転作をしている部分はあるとはいえ農業を続けている。農業用水は新堰からポンプアップして確保している。ポンプはだましまし使っているが、導水する鉄管が老朽化してきている。市の土地改良区にお願いして見てもらったが、土地改良区だけでは対応が難しいので、市も援助をお願いしたい。

市長

どこの集落でも高齢化が進み、水利施設の管理が難しくなる中で、点検保守が大切になっている。農業用水は、土地改良区や水利組合に管理してもらっているが、費用がかかる場合は市でも負担していく。

新堰の話が出たが、民俗資料館隣の斜面に用水路がある。15 メートルほどの落差があり、来年度予算で小水力発電を行う事業を計画している。電気は市の施設であるクリーンセンターで使っていく。

出席者

扇沢トンネルの破碎帯の水を大町市側へ導水できないか。

市長

経過はわからないが、調べてみる。(後日確認したところ、既に大町市側へ導水している。)

出席者

今日出席できない方から預かった意見があるのでお願いしたい。

一つ目は、社南部には体育施設が社B&G多目的広場しかない。宮本に30人くらいで、毎週健康増進のために体操などをするグループがある。普段は外で行っているが、雨天や冬期になると行う場所がないので体育施設を作ってほしい。宮本は生活圏が池田町であり、また市内のほかの施設まで行くのも高齢者には難しい。公民館でも行っているが、行事があると使えないこともあり、ビニールハウスでもいいので造ってほしい。

二つ目は、小地域福祉ネットワークについて。市の補助金が減らされてきており、当初は5万円であったが、現在は均等割2万円とボランティアする人数かける100円で100人までの頭打ちになってしまった。活動して足りない分は自治会で負担している。お楽しみ会や会食会など活動をしており何とかしてほしい。また、ボランティアしている人がされる側に回る歳になってきている。いいアイデアがあればお願いしたい。

三つ目は、先日も市へお願いに行ってもらったが、県道大峰大平沓掛線の歩道の草刈りを、依頼しないと作業してくれない。また高瀬川左岸の堤防道路などの市道や宮本橋南の公園もそうであるが、のり面は刈ってくれない。行政でやってくれるならきちんとやってほしいが、もし個人にやってもらうなら燃料代と替刃くらいは用意してほしい。

四つ目に、今年は米価が安くなり水田農業が困難になってきている。大町市農業支援センターを立ち上げてはもらったが、市としてこのような状況にどう対処してもらえるのか。市長は企業誘致に力を入れているが、企業は都合が悪くなるとどこか他に行ってしまうが、農家は土地があるので逃げていくことがない。農家の元気が出る施策を考えてほしい。個人で大規模に農業をやっても、例えば売り上げが1000万円を超えると消費税を取られてしまう。立ち上げの3年間は減税するなどの対策をしてはどうか。

市長

一つ目の体育施設については、ビニールハウスは安全上難しく、また地域に施設を造ることを助成する制度はないが、きらり輝く協働まちづくり事業補助金があり、例えば高根町ではマレットゴルフ場を造るなどしているのので、その制度の活用を検討してほしい。

二つ目の小地域ネットワークについては、市内一円で取り組んでいるものである。補助金の減額は、ゆくゆくは自立してそれぞれで運営してもらいたいという考えがあると思う。増額というのは、時代に逆行するという意見もでると思うので、慎重に検討していく。

三つ目の道路の草刈りについては、交通安全上や近隣の農地に迷惑をかけないように行っているが、のり面など不十分なところがある場合は、具体的に指摘していただきたい。草刈りのルール作りについては担当の建設課に指示する。

四つ目の現在の低い米価では、規模が大きくなればなるほど赤字になってしまう。国にも米価が低すぎてやっていけないことも伝えており、国も地方を重視しだしたことから動き出しつつある。市民と行政が知恵を出し合っていかなければいけないが、具体的な方法があれば提案いただきたい。

出席者

米価は米が余っているから安くなる。行政は転作率が高くなったからといって喜んでいるが、現在の制度では、荒廃農地も転作と認め、お金だけのために転作することもでき、まじめにやっている人との差が出てしまうのが現状である。また、正規の流通ルートではない米が流通するために、米価は下がってしまう。

市長

これから中国などが経済成長し、日本の米が輸出されることがあれば、日本の農業を守っていかなければならなくなる。フランスは、産業大国であるが農業にも力を入れている。ただ、転作も含め市のレベルでは解決できないので、地方として国に提案していきたい。

出席者

猿の被害に困っているが、猿を駆除するわけにはいかないか。一匹につき 2,000 円から 3,000 円で引き取るなどとはできないか。昔はいなかったところに出てくるようになり、頭数も増えているようだ。熊も増えているので心配である。

市長

研究グループによると、そこにいるグループを駆除して空白地帯を作ると、そこに山奥から別のグループが出てきてしまう。出てこないようにしていくことが必要で、個体調整で猟友会にも補助金を出し駆除してもらっている。また、モンキードックや電気柵、人が追い払うなどいくつかの方法を組み合わせで対策している。また来年から県で集落単位の対策を検討していると聞いている。例えば間伐を里山に入れるなどしていくことを、県と協力して行っていく。

出席者

今年山の寺地区は、道普請ではなく里山の下草狩りをした。2 ヶ月は効果があったが、その後はまたサルが出てきた。個体調整が、一番効果が上がると思うので行ってほしい。

市長

県と相談して対策していきたい。

出席者

体育施設の話が出ていたが、社公民館を今年使った際、夜は管理人がいて戸締りの心配もなく使いやすかった。イベントの時だけでなく、昼間も含め社全体で有効に使わないともったいないと思う。

また、社公民館に行くのに高齢者などは市民バスふれあい号で行くが、利用しやすい時間に運行してほしい。また前には上原の湯には直行便があり便利だったが、今は乗り換えなければならず不便である。

市長

現在、来年に向けてバス路線の検討をしているが、効果的な時間設定をしていきたい。

酒井課長

以前は上原の湯へ老人福祉バスで行ったが、今はふれあい号上原の湯コースが直通で運行している。週に2回ずつくらい各地区をまわっている。

出席者

高齢者には、時刻表が複雑で理解しにくいようだ。

出席者

もっと利用しやすい時間帯にしていきたい。買い物に行っても忙しくて不便という声を聞く。利用者のニーズに合わせてほしい。

市長

使う人が使いやすくなければ何にもならないので、具体的な提案をしてほしい。過去にもそれで時間や路線が変更になったこともある。

出席者

行政の区域を超えて広域で考えれば、宮本などは松川村のすずむし荘も近いので、行けるようにしてはどうか。他にも近隣町村の文化財を回るコースなどを入れて観光も自治体を超えて考えていかなければ、今の時代に対応できないのではないか。

市長

外から来る観光客は大町市だけに来ているわけではないので、広域連合でも取り上げてみたい。

出席者

今日みんないろいろと話が出ていたが、新しい大町市になってみんな仲良くやっていくことがよいと感想をもった。

市長

地域が一緒になって、プラスの面、マイナスの面あるかもしれないが、良いところを磨きあって一体感をつくっていきたい。社が大町市になり一体となったように、美麻のぽかぽかランドや八坂の明日香荘などもあり、そちらにも行き、美麻八坂の人が大町に来るなど交流をしてほしい。

自治会長

この辺で終わりとしたいが、市長また市役所の職員には地域発展のために尽力いただきたい。

市長

絵に描いたもちにならないように、立てた目標を達成できるよう努力していきたい。そのためにも市民からの意見をいただきたい。

5.閉会